

平成 30 年度学校経営方針

篠山市立西紀中学校

1 基本方針

日本国憲法及び教育基本法の精神にのっとり、「清純・愛郷」の校訓を基盤に、自立して社会に貢献する創造的な人間教育を進める。

2 教育目標

基礎力・思考力・実践力をもち、磨き合って自立に向かう生徒の育成

[基礎力:知識・技能 思考力:思考力・判断力・表現力等 実践力:学びに向かう力、人間性等]

3 めざす学校像

安全安心を基盤に、生徒が生活・学習を創造するコミュニティ・スクール

[学校経営の方針]

- (1) 安全安心・人間尊重による信頼づくり
- (2) 将来や社会への糸口となる主体性と協働性を育む集団づくり
- (3) 主体的・対話的で深い学びの実現をめざした授業づくり
- (4) 生徒と大人が智慧を寄せ合うコミュニティ・スクールづくり
- (5) 指導力向上と業務改善を推進する教職員組織づくり

4 めざす生徒像

主体的な学びと対話を通して、深く考え実践する生徒

[CORE]

- (1) 見通し・意欲をもって主体的に学ぶ (Control)
- (2) 個性を発揮し、多様性を認め、対話する中で深く考える (Communication)
- (3) 自らの学びを振り返って改善し、実践する (Reflection)

5 めざす教師像

以徳育徳 以才培才 以情動情 以行導行 「教育は“今日行く”」

- (1) 人間的ふれあいを基盤に生徒とともに真摯に学び続ける (footwork)
- (2) 心を外に開き、同僚・家庭・地域と一緒に英知を集める (teamwork)
- (3) 人・物・情報を結びつけ新たな教育を創造する (network)

6 めざす学校・家庭・地域連携像

ワイ(夢)・ワイ(やりがい)・ワイ(やすらぎ) チーム西紀中学校

- (1) 夢：社会や将来につながるキャリア教育、ふるさと教育、学力向上
- (2) やりがい：自尊感情、公共心を高めるボランティア活動等、地域貢献活動
- (3) やすらぎ：安全安心・信頼を高める防災、安全、人権教育、生徒指導

7 指導の重点と実践項目

(1) 危機管理意識を高め、自らの命を守り抜く安全・防災教育

- ① 西紀中学生3つの宝（挨拶・傾聴・全力）を基盤に、きびきびした生活、すがすがしい環境、さわやかな仲間による安全安心で規律ある教育環境を確立する。
- ② 安全点検の徹底や体育授業等におけるきめ細かい生徒観察により事故の未然防止を図るとともに、定期的な緊急連絡体制の確認により、事故に即時即応する。
- ③ 食・睡眠・交通をはじめ、情報進展に伴う事件・事故、防災や国民保護等、健康・安全に係る情報を的確に判断し、主体的に行動する能力を育成する。
- ④ 家庭や地域、関係機関・団体と連携した防災防犯体制を確立するとともに、危険箇所の把握や自転車保険への加入等、安全に対する意識の高揚を図る。

(2) 誇りを感じる学校・学級集団

- ① 学校・学級の課題について、話し合い合意形成・協力して改善することを通し、現在及び将来を見据えた課題解決力や人間関係形成・社会参画する力を育てる。
- ② 学級の生活・学習を話し合い、PDCAサイクルで改善する中で、誇りと責任感をもち、よりよい生活や人間関係を築く自主的・実践的な態度を育てる。
- ③ 生徒会・教科係が生活・学習の諸課題を解決・改善する活動を通して、協力・協働して諸課題を解決しようとする自主的・実践的な態度を育てる。
- ④ 学校行事を通して、集団への所属感・連帯感を高めたり、高い目標をもち、自己を生かし、協力して課題解決したりする自主的・実践的な態度を育てる。
- ⑤ 効率的、効果的に部活動を行い、顧問と協議しながら自発的・自主的に心身を鍛える生徒を育成する。

(3) 未来を見据えて個性・能力の伸長を図るキャリア教育

- ① 教育活動全体で、学ぶことと将来や社会とのつながりを考える中で、社会的・職業的自立に向けた資質・能力や社会参画する意欲・態度を育む。
- ② 生徒が生き方を考え、自らの意思と責任で自らのよさを生かす進路を選択できるよう、キャリアノートを活用し個に応じた組織的・計画的な進路指導を行う。
- ③ 体験活動のねらいを明確にし、事前事後指導を充実することを通して、勤労・奉仕等を尊ぶ心や、社会の一員としての自覚、社会参画への意欲、態度を養う。
- ④ 地域人材による学習や地域貢献活動により、ふるさと「西紀」を愛する心を培い、我が国や外国の文化・伝統を理解し、尊重し合う生徒の育成を図る。

(4) 基礎力・思考力・実践力を育む学習指導・授業改善

- ① 新学習システムを活用した少人数指導や補充的な学習、発展的な学習など、個に応じ個が生きる指導内容・方法の授業改善を進める。
- ② 見通しのある予習、書くことによる個人思考、対話による集団思考、修正・推敲・活用による振り返りを通し、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る。

- ③ 生徒自らが学習を振り返り、その定着を図り新たな課題に挑戦していきけるように、基礎基本の定着とその活用を意識した評価、評価言を工夫する。
- ④ 知識・技能が他の学習や生活で活用できるよう、見通しを立てて予習をしたり振り返って復習したりする家庭学習や放課後学習の充実を図る。
- ⑤ 言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力や現在的な諸課題に対応する資質・能力を教科横断的な視点で育成する。
- ⑥ 読書への興味を深めるとともに、外部人材の活用も含め創意工夫して学力向上の取組を推進する。

(5) 存在感や成就感を大切にした生徒指導

- ① 生徒が存在感を実感する中で自己指導力や人間関係を高めるよう、生徒理解を深め、学習指導と関連付けながら命と人権を根幹に据えた生徒指導を進める。
- ② 全教職員の共通理解のもと、ガイダンスとカウンセリングの双方から心の居場所づくりに努め、問題行動、不登校等の未然防止、早期発見・対応する。
- ③ スクールカウンセラーと連携した教育相談活動を充実するとともに、相談窓口を明確化し、早期発見・早期対応に努める。
- ④ 生徒指導方針を発信し、地域と一体となった生徒指導を進めるとともに、警察、福祉、医療等の関係機関と連携し継続した組織的・計画的な個別支援を行う。
- ⑤ 法・条例・学校基本方針や生徒会「いじめ0宣言」によりアンケートや教育相談等を通していじめを積極的に認知し、関係機関とも連携し、早期解決を図る。
- ⑥ 情報機器の使用時間や使用目的について、生徒会活動や関係機関との連携によりコミュニケーションや個人情報、肖像権や著作権の権利を正しく理解させる。

(6) 豊かな人間性・社会性を育む特別支援教育、道徳教育、人権教育

- ① 特別支援教育を中核に据え、ユニバーサルデザインや教育支援計画における合理的配慮を充実し、豊かな人間関係づくりと、ともに伸びる力を育成する。
また、日本語指導を必要とする生徒や不登校生徒についても個別の指導計画に基づき、計画的・組織的に指導を行う。
- ② 考え議論する道徳の時間を要として体験的・実践的活動をはじめとする学校の教育活動全体で、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。
- ③ 人間尊重の精神や生命に対する畏敬の念を具体的な生活の中に生かせるよう、全教育活動を通じて命と人権の大切さを教え、共に生きる心を育む。

(7) 美しく活気に満ちたコミュニティ・スクール

- ① ホームページ、オープンスクール等により、教育活動の目標や内容を具体的に説明し、家庭・地域の参画を促進する社会に開かれた教育課程を進める。
- ② 生徒会と学校運営協議会が協議する「四つの力委員会」により、社会や将来につながり、夢・やりがい・やすらぎ（安全安心）を体感する教育を進める。

- ③ 学校運営協議会の協力のもと、教育課程の評価改善や、人的物的支援などのカリキュラムマネジメントを効果的に進める。
- ④ 小・中・高等学校の連携を密にし、児童生徒・教職員・地域の交流を通して、地域の学校としての育ちの連続性を確立する。

(8) 笑顔と元気に満ちた教職員組織

- ① 豊かな人間性の涵養に努め、専門性と実践的指導力の向上をめざし、研究と修養に努める。
- ② 心を外に開き、基礎的指導力向上を図り、保護者や地域の人々の期待に応えられる教職員組織であるよう研究と修養に努める。
- ③ 法令、社会通念に基づき、非違行為は教職員全体の信用・信頼を損なうことを深く理解し、教職員としての誇りと責任をもって自己の行動を律するとともに、情報化、グローバル化など社会の変化に対応した教育観を培う。
- ④ 笑顔と元気に満ちた態度で生徒と向き合うため、校務の効率的・計画的な実施、会議の効率化（会議資料の事前配布）、ノー部活デーや定時退勤日の徹底、記録簿の整理、計画的な年休取得など勤務時間の適正化を進める。

8 研究主題

「主体的な学びと仲間との学び合いを通して生徒自らが創る生活・学習」

西紀中学校授業スタンダードによる授業改善とICTを活用した予習・協働学習推進

(1) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

- ・見通し・意欲をもって学ぶための授業目標の事前提示及び予習
- ・書くことによる個人思考、対話による集団思考
- ・わかる・できる事項の確認や修正・推敲・活用による振り返り
- ・ICTを活用した予習と協働学習

(2) 自分たちで創り上げる学習・生活集団

- ・学習規律・方法・内容等学びの質を高めるための生徒と教職員による検討
- ・生徒が検証改善する生徒会、教科係、学級活動、コミュニティ・スクール

9 各学年の目標

- 1年生 「たしかな力をもつ」：中学生としての自覚
生活・学習の両面で基礎・基本を身につけ、主体的に学ぶ。
- 2年生 「磨き合う」：集団の中での個性の伸長
仲間との対話・協働により個性を伸ばし、様々な事に挑戦する。
- 3年生 「共に自立に向かう」：自己実現に向けた努力
主体的に進路を選択し、自らの夢や志の実現とともに努力する。

西紀中学校学びのスタンダード（CORE活動）

構成		生徒の活動	教師の指導・支援																																					
予習・準備		<p>◎主体的な学び (Control)</p> <ul style="list-style-type: none"> 次の活動を見通し予習・準備する。 〔「ねらい」「知識」「実験・観察方法」「作業方法」「問題解決のヒント」「話し合う内容」等の理解〕 	<p>○「目標」の事前提示</p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的な学びの礎となる指導きびきびした生活(時間、姿勢)すがすがしい環境(美化、掲示)さわやかな仲間(挨拶、敬意) 																																					
教育活動	1 つかむ	<ul style="list-style-type: none"> 解決すべきことを確認する 	<ul style="list-style-type: none"> 学習意欲や知的好奇心を高めるよう具体物等を提示 																																					
	2 考える (個人思考)	<ul style="list-style-type: none"> 根拠を明確に、適切な学習用語や図表・グラフを使って具体的に考えたり、書いたりする。 〔「だから」「けれども」「本当は」「自分は」等の深く考える言葉〕 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な意見が引き出せる発問短く、具体的(分量等)、1回で ○書く時間の確保と条件設定の工夫 より詳しく、具体的に書かせる ◆机間巡視による意見把握(キーワードに着目し短時間で) 																																					
	<p>◎対話の目的や方法、ポイントを明示し、共通理解を図る 思考力・判断力・表現力を育むことに重点をおく授業→生徒が自ら考え、気づくため共通点や相違点に着目して交流 基礎的・基本的な知識・技能の定着に重点をおく授業→教師が教えるべきことは教え、理解・習得することを目的とした交流</p>																																							
	3 深める (集団思考)	<p>◎対話を通じた学び (Communication)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを発表するだけでなく考えを比較・整理・類別しながら聞き、考えを高める。 <table border="1" data-bbox="427 1193 903 1731"> <thead> <tr> <th colspan="2">生徒の思考スキル</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>比較</td> <td>AとBを比べると・・・</td> </tr> <tr> <td>関連</td> <td>AとBをつなげると・・・</td> </tr> <tr> <td>分類</td> <td>グループに分けると・・・</td> </tr> <tr> <td>仮定</td> <td>もし～ならば</td> </tr> <tr> <td>推測</td> <td>～だから・・・と考えられる</td> </tr> <tr> <td>選択</td> <td>～だから・・・を選んだ</td> </tr> <tr> <td>具体</td> <td>例えば(具体的には)・・・</td> </tr> <tr> <td>多面</td> <td>他の視点から考えると・・・</td> </tr> <tr> <td>批判</td> <td>本当にそう言えるか</td> </tr> <tr> <td>総合</td> <td>つまり(まとめると)・・・</td> </tr> </tbody> </table>	生徒の思考スキル		種類	考え方	比較	AとBを比べると・・・	関連	AとBをつなげると・・・	分類	グループに分けると・・・	仮定	もし～ならば	推測	～だから・・・と考えられる	選択	～だから・・・を選んだ	具体	例えば(具体的には)・・・	多面	他の視点から考えると・・・	批判	本当にそう言えるか	総合	つまり(まとめると)・・・	<p>○他者の発言から、自分の考えを比較、整理、類推しながら聞き、考えを高め合う活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体的、論理的に対話 聞き方の指導 (違う点、気づきを朱書でメモ) ◆意図的指名によるコーディネート <table border="1" data-bbox="930 1272 1401 1709"> <thead> <tr> <th colspan="2">思考を深める発問の工夫</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>発問</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>因果関係</td> <td>なぜそう思うの？</td> </tr> <tr> <td>類推</td> <td>○○であることから考えられることは？</td> </tr> <tr> <td>変換</td> <td>○○を使って表現してみよう</td> </tr> <tr> <td>比較</td> <td>どこが同じ(違う)</td> </tr> <tr> <td>要約</td> <td>一言で言い換えると</td> </tr> </tbody> </table>	思考を深める発問の工夫		種類	発問	因果関係	なぜそう思うの？	類推	○○であることから考えられることは？	変換	○○を使って表現してみよう	比較	どこが同じ(違う)	要約
生徒の思考スキル																																								
種類	考え方																																							
比較	AとBを比べると・・・																																							
関連	AとBをつなげると・・・																																							
分類	グループに分けると・・・																																							
仮定	もし～ならば																																							
推測	～だから・・・と考えられる																																							
選択	～だから・・・を選んだ																																							
具体	例えば(具体的には)・・・																																							
多面	他の視点から考えると・・・																																							
批判	本当にそう言えるか																																							
総合	つまり(まとめると)・・・																																							
思考を深める発問の工夫																																								
種類	発問																																							
因果関係	なぜそう思うの？																																							
類推	○○であることから考えられることは？																																							
変換	○○を使って表現してみよう																																							
比較	どこが同じ(違う)																																							
要約	一言で言い換えると																																							
4 確かめる	<p>◎学びの振り返りと実践 (Reflection)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自らの考えを修正・推敲する 分かる、できるようになったことや今後どう活用するか確認する。 定着を図る練習問題をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 量的変容及び質的変容の評価言 ○「活用」問題を含む確認テストの実施(単元・定期) (注)反復学習:ねらいを明確にすれば主体的な学習 																																						

◎「主体的・対話的で深い学び」は1回の授業のみではなく、単元や題材など内容や時間のまとまりの中で実現を図る

【めざす学校像】
 安全安心を基盤に生徒が生活・学習を創造するコミュニティ・スクール

- 安全安心・人間尊重による信頼づくり
- 将来や社会の糸口となる主体性や協働性を育む集団づくり
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり
- 生徒と大人が知恵を寄せ合うコミュニティ・スクールづくり

【ワイ(夢)・ワイ(やりがい)・ワイ(やすらぎ) チーム西紀中学校】

【校訓】 清純・愛郷
【学校教育目標】
基礎力・思考力・実践力をもち、磨き合って自立に向かう生徒の育成

【めざす教師像】
 以徳育徳 以才培才 以情動情 以行導行
 「教育は”今日行く”」
 指導力向上と業務改善を推進

【めざす生徒像】
主体的な学びと対話を通して、深く考え実践する生徒【CORE】

- 見通し・意欲をもって主体的に学ぶ(Control)
- 個性を発揮し、多様性を認め対話する中で深く考える(Communication)
- 自らの学びを振り返って改善し、実践する(Reflection)

	【安全安心・人間尊重・健やかな体(礎・軸)】	【学力向上・確かな学力(核)】	【生徒指導・豊かな心(核)】	【社会に開かれた教育課程(絆)】
【重点目標】	1 危機管理意識を高め、自らの命を守り抜く安全・防災教育 ○きびきびとした生活、すがすがしい環境、さわやかな仲間の徹底 ○安全点検・生徒観察・緊急体制の徹底 ○安全・健康についての的確に判断・主体的に行動する力の育成 ○家庭・地域と連携した防災防犯強化	3 未来を見据えて個性・能力の伸長を図るキャリア教育 ○学びと将来や社会のつながりを考える中で、社会的・職業的自立や社会参画の資質・能力等を育成 ○キャリアノート等による個に応じた進路指導の充実 ○明確なねらいのもと体験活動を充実 ○愛郷心、我が国や外国の伝統・文化尊重	5 存在感や達成感を大切に生徒指導 ○命と人権を根幹に据えた教育推進 ○がたすしとカウンセリングによるいじめ、不登校の未然防止、早期発見・早期対応 ○指導方針の発信、関係機関と連携した組織的・計画的な ○いじめ0宣言による生徒会の啓発・点検・改善 ○関係機関と連携した情報機器使用に関する啓発	7 美しく活気に満ちたコミュニティ・スクール ○参観、参画を促進する社会に開かれた教育課程の推進 ○学校運営協議会と生徒会が連携した四つの力委員会による教育課程の評価改善や、人的物的支援などのカリキュラムマネジメント ○小・中・高等学校の連携強化
	○危険予知能力と危険回避能力の育成 ・安全点検(教職員、保護者、生徒)及び生徒観察の徹底、行事等の安全対策強化 ・安全・健康に係る啓発強化講演会等の計画的実施 →事故の前年比減	○生徒と教師による学び方の検討 ・キャリアノートや地域人材を活用した進路指導 →夢や目標を持つ生徒の前年比増	○教育相談の充実 ・教育相談の即時即日実施、記録、共有 →いじめ解消率 100% ・ICT活用に関する関係機関と連携した指導や生徒会による自発的啓発 →テレビ・ゲームを見る時間の前年比減	○生徒会と学校地域運営協議会の連携 ・生徒・保護者・地域代表・教職員から構成する四つの力委員会実施、学校運営協議会と連携した教育活動の改善 →ボランティア活動に参加する生徒の前年比増
【重点目標】	2 誇りを感じる学校・学級集団 ○話し合い合意形成・協力して改善することを通して、課題解決力や人間関係形成、社会参画する力の育成 ○PDCA サイクルによる学級の生活・学習の創造・改善 ○生徒会・教科係と教員が目標を共有した生活・学習の創造・改善 ○効率的、効果的な部活動運営	4 基礎力・思考力・実践力を育む学習指導・授業改善 ○個が生きる指導の充実 ○書くことによる個人思考、対話による集団思考による授業改善 ○予習課題の提示と、修正・推敲や基礎基本の定着・活用を意識した振り返り及び評価の充実 ○言語能力、情報活用能力、問題解決能力等を教科横断的視点で育成	6 豊かな人間性・社会性を育む特別支援教育、道徳教育、人権教育 ○エンバーサルデザインや合理的配慮を充実し、ともに伸びる力を育成 ○考え議論する道徳の時間を要として教育活動全体で道徳性を向上 ○人間尊重の精神や生命に対する畏敬の念を生活に生かす教育の推進	8 笑顔と元気に満ちた教職員組織 ○専門性と実践的指導力向上 ○家庭や地域の期待に応える組織対応 ○社会の変化に対応した教育の創造 ○校務・会議の一層の効率化など業務改善と勤務時間の適正化の推進
	○生徒自身による生活・学習の検証改善 ・生徒会活動、教科係活動による主体的教育活動の実施と点検 ・学年合同授業による学び方の検討 →達成を感じる生徒前年比増 (市調査 頑張ったと認めてもらえる)	○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業研究 ・条件作文や対話の全教育活動での実施 ・次時の目標と予習課題の事前連絡 →予習する生徒前年比増 →1 時間で 1 回以上意見を言う生徒増	○特別支援の検証改善 ・特別支援教育委員会で合理的配慮・エンバーサルデザインの検証改善 →学期に 1 回保護者と評価検証 ○考え議論する道徳の充実 ・行動から心を推し測る授業研究と評価の充実 →グループでの生徒の発言増	○西紀中学校スタンダードによる授業研究 ・適切な予習課題、思考を深める対話、確実な定着を図る振り返りの研究 →1 回以上の授業研究 ○効率的・効果的な校務の推進 ・ノー会議デー、ノー残業デー、ノー部活デーに加え、会議・校務の効率化 →職員会議の電子化、効率化(月 1 回 1 時間)

【研究主題】 主体的な学びと仲間との学び合いを通して生徒自らが創る生活・学習 (西紀中学校授業スタンダードによる授業改善と ICT を活用した予習・協働学習推進)